

夏～水で～

暑い夏、子どもたちが大好きな水遊び。しかし、プール以外の場面で思い切り外で水遊びをする機会は、少なくなっているのではないのでしょうか。思う存分、水で遊ぶ楽しさを味わい、次第に、水を使って遊ぶおもちゃを作ったり、ルールを考えて遊びを作り出したりするなど活動を広げ、友達と一緒に水の不思議さや楽しさを感じられるような活動構成にしていきましょう。

ここが
ポイント

①プール ⇒ ②おもちゃ作り ⇒ ③遊び作り

①水で遊ぶ活動では、水泳学習をきっかけとして単元をスタートすると、「水遊びって楽しいな。」という思いを抱かせることができます。水への興味・関心をもたせてから、「もっと、水で遊びたい。」「他にもこんな遊びをしたい。」「水鉄砲も楽しいよね。」「船を作って浮かべてみたら……。」「などと、思いや願いを広げていきます。

水のかけっことは、
楽しいな。

ホースの水が遠くまで飛んだよ。



〇〇さんは、水に浮くことができたよ。
すごいな。

今度は、プール以外でも水で遊びたいな。

気づき！

友達と水遊びをする中で、水に浮かべたり、流したり、水を飛ばしたりする面白さに気付いていきます。ここでの気づきをおもちゃ作りに生かしていきます。

②水を使ったおもちゃを作り、友達と遊びます。作って遊ぶ中で、様々な気づきや工夫が生まれます。

＜水鉄砲～ペットボトルや洗剤のボトル、マヨネーズ容器などを使って＞

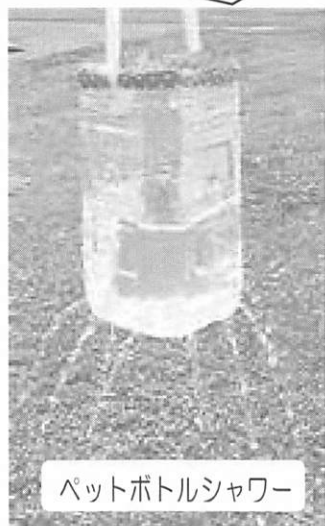
ギュッと強く押すと遠くまで飛ぶよ。



水で地面に、絵がかけたよ。

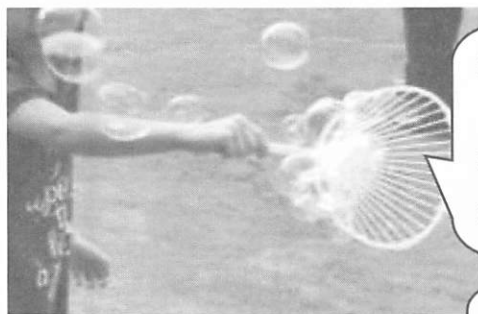
飛ばす方向を変えてみよう。

小さい穴をたくさん開けたら、虹が見えたよ。



ペットボトルシャワー

＜シャボン玉～ストロー、餅網、ラケット、うちわを使って＞



餅網やうちわ、ラケットを使うとたくさんのシャボン玉ができた！

もっと大きなシャボン玉をつくりたいな。

ストローの先の切り方を工夫しよう。



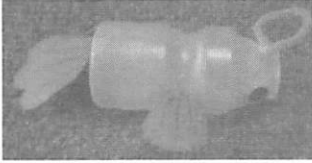
- ・棒とたこ糸を結んで……。
- ・丸くした針金に布や毛糸を巻いて……。



あるある NG!

シャボン玉液は、アレルギーを考え自然素材のもので作りましょう。また、活動後に液が残ると皮膚炎の原因になります。タオルなどを持参して、しっかりと液を落とすようにしましょう。液の誤飲への注意も忘れずに行いましょう。着替えもあると、よいですね。

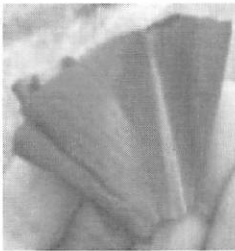
＜水に浮くおもちゃ～牛乳パックや紙コップ、飲料容器を使って＞



様々な容器を集めて、「どれが浮かぶかな？」と、みんなで確かめてみるのもよいでしょう。少しだけ水を入れたりおもりを入れたりすると安定することにも気が広がります。

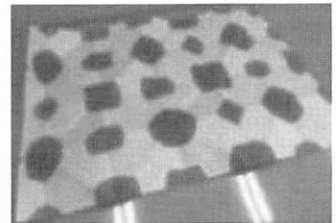


＜色水を染み込ませて～あさがおの汁を使って＞



和紙を折って、あさがおの汁を染み込ませると、面白い模様が浮かび上がります。

しぼった色水は、ペットボトルに入れて冷蔵庫で保管すると、学級で使用する分が溜まるまで、保存しておくことができます。



③作ったおもちゃを使ってみんなで遊ぶ計画を立てると、さらに工夫が広がります。

遊び

- ・水鉄砲で的当てがしたい。
- ・船がどこまで流れるか、競争しよう。

ルール

- ・みんなが楽しめるようにしましょう。分かりやすいルールがいいね。